

1. 学会関連情報

○「現存被ばく状況における環境修復活動で発生する廃棄物の管理に関する防護のガイドライン」に関する公衆審査について(案内)(2月10日)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=189>

今後の予定: 令和2年3月10日 意見受付終了

令和2年3月末 公衆審査結果報告および委員会最終審議

○ICRP 放射線ドトリメント計算方法に関するドラフト文書への意見募集について(2月7日)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=187>

意見提出締切: 2020年4月7日(火)17:00 必着

○日本保健物理学会第53回研究発表会 HP

<http://www.jhps.or.jp/jhps53/index.html>

○IRPA 15 Congress Proceedings (Full Paper Submission)について

https://www.irpa2020.org/program/program_10.html?sMenu=pro8

締切:2020年3月31日(火)

2. 関連する研究情報

論文紹介

○Eur J Epidemiol. 2020 Jan 25. doi: 10.1007/s10654-019-00599-y. [Epub ahead of print]

原爆被爆者の寿命調査コホートにおいて、中枢神経系腫瘍(1958-2009年に診断された症例285例)の罹患リスクを解析。神経膠瘍、髄膜腫、全ての中枢神経系腫瘍で ERR/Gy が有意に増加(いずれも線量応答の形状は直線)。神経鞘腫の ERR/Gy は、到達年齢の増加により減少。

Radiation risk of central nervous system tumors in the Life Span Study of atomic bomb survivors, 1958-2009.

Brenner AV et al.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/31982981>

○Int J Cancer. 2020 Jan 27. doi: 10.1002/ijc.32887. [Epub ahead of print]

原爆被爆者の寿命調査において、死亡診断書における原発性肝がんの不正確さ(誤分類)がリス

ク推定に及ぼす影響を解析。1958-1987年における死亡診断書と病理診断の比較による誤分類率に基づいて、1987-2009年以降の誤分類率を様々なシナリオで推定。想定するシナリオにより、修正した症例数に基づく放射線リスク推定値は平均13-30%変化。

Misclassification of primary liver cancer in the Life Span Study of atomic bomb survivors.
French B et al.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/31985032>

3. ニュースや社会の動き

○NEA ワークショップ(2/18-19、東京)の発表スライドが公開されました。

<https://www.oecd-nea.org/download/wpnem/Tokyo2020JointWorkshop/index.html>

○外務省 Grossi IAEA 事務局長が2月25～28日にかけて来日。福島第一原発の視察等を実施(3月5日) 概要：https://www.mofa.go.jp/mofaj/dns/inec/page24_001010.html

○ICRP がタスクグループ 64 草案「Cancer Risk from Exposure to Plutonium and Uranium」の公開意見募集を開始(コメント提出締切 2020年6月5日)

<http://www.icrp.org/consultation.asp?id=96F83A08-6FCC-492E-9238-01F0EE6CC9A4>

4. これからのイベント

○東電福島第一原発事故から10年を経た環境放射生態学に関する国際会議
(2021年6月22日 - 26日、:パルセ飯坂(福島市))

<https://www.IERR2021.org/>

○OECD NEA 研修コース「Third International Radiological Protection School」(2020年8月17日から21日、スウェーデン スtockホルム大学、申込締切:4月30日)

<http://www.oecd-nea.org/rp/irps/>

○"The Sixth International Conference on Geological Repositories (ICGR 2020)"(2020年11月8日から11日、フィンランド ヘルシンキ)

テーマは“Advancing Geological Repositories from Concept to Operation”。

11月12日に the underground rock characterisation facility (ONKALO)の施設見学が予定されている。

http://www.posiva.fi/en/final_disposal/onkalo

5. 公募情報、学生・ポスdok受入情報

○電力中央研究所 研究員(放射線防護のための放射線リスク評価と最適化研究)任期無し
(5月31日必着)

<https://recruit.denken.jp/kadai/post-274/>

○東北大学 薬学研究科・吉田浩子研究室 助教あるいは助手(放射線健康管理に資する線量評価に関する分野)任期あり
(3月31日必着)

<http://www.pharm.tohoku.ac.jp/saiyou/index.shtml>

○高エネルギー加速器研究機構 技術職員 任期無し
(4月14日必着)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D120030074&ln_jor=0

○東京大学 アイントープ総合センター 特任准教授または特任講師 任期あり
(3月20日必着)

https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D120030115&ln_jor=0

既発行の Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

Newsletter にて会員に有益な最新論文やイベント情報等の発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— —

【発行】一般社団法人日本保健物理学会
【編集】同広報担当 Newsletter 作成グループ
【発信元】同学会事務局
TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659
E-mail: exec.off@jhps.or.jp

— —